

北九州埠頭株式会社

I 法人の概要 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

1 所在地

北九州市門司区本町 2 番 10 号 サンリヤン門司港 2F (平成 29 年 6 月 5 日移転)

2 設立年月日

昭和 32 年 10 月 30 日

3 代表者

代表取締役社長 橋本 哲治

4 基本財産

10,000 千円

5 北九州市の出捐金

5,120 千円 (出資の割合 51.2%)

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6 人	0 人	1 人	5 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	5 人	0 人	0 人	5 人
職 員	40 人	0 人	2 人	38 人

7 市からのミッション

- ① ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の 24 時間 365 日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。
- ② 第 3 セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。
- ③ これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。

II 平成 28 年度事業実績

北九州埠頭株式会社は、北九州港の効率的な運営を図り、その機能を最高に発揮させることを目的として、各種埠頭施設の管理運営、維持管理業務等の事業を行っている。

平成 28 年度の業績概要は、総収入 409,478,556 円、総支出 389,849,271 円、税引前当期純利益 19,629,285 円となった。

1 受託事業について

平成 28 年度は、

- ・港湾施設性能維持外業務
- ・港湾施設管理運營業務

を北九州市から受託して実施した。

本市の指導の下、業務の円滑な遂行と港湾施設の効率的な運営、安全性の確保、港湾利用者の利便性の向上に努めながら、業務を遂行した。

2 自主事業について

平成 28 年度は、

- ・新門司マリーナ施設運營業務
- ・田野浦特定埠頭運營業務
- ・船舶給水販売業務
- ・リサイクルポート施設運營業務
- ・若松月極駐車場業務

等を実施した。

主要自主事業の概況は次のとおり。

【新門司マリーナ施設運營業務】

当施設の収支向上を図るため、平成 22 年度から入会時の契約保証金の無料化、新料金制度の導入等を実施し、艇置隻数の増加策を講じてきた。

マリン業界における艇の大型化の傾向や株式会社ギラヴァンツ北九州が年間を通じてクラブハウスを利用したことにより、平成 28 年度は、前期比約 17.4%の増収となった。

【田野浦特定埠頭運營業務】

平成 22 年度から、岸壁と荷さばき地とを一体的に効率よく利用できる料金設定を行い、利便性の向上を図ってきた。

平成 28 年度は、主要船舶が大型化により係留できなくなったことから、係留時間が減少し、事業全体で前年度比約 1.3%の減収となった。

【船舶給水販売業務】

田野浦 1 号岸壁～8 号岸壁への接岸船舶を対象に、給水販売を行った。

平成 28 年度の給水販売実績は、86 隻、9,873 トンであり、前年度比約 4.3%の減収となった。

【若松月極駐車場業務】

平成 23 年度から、料金の見直しや駐車場舗装路面の整備等を行い、契約台数の拡大を図ってきた。

平成 28 年度の契約台数実績は、3 月末現在で前期比 7 台減の 128 台であり、収入は前年度比約 1.9%の減収となった。当面は周辺駐車場との競合等から、施設改修による大幅な収入増加を図ることは難しく、横ばい状態が続くものと見込まれる。

3 部門別収入実績

事業別	部門別	収入	収入比率
受託事業	港湾施設性能維持外業務	235,461,009 円	57.50%
	港湾施設管理運營業務	83,351,800 円	20.36%
	合 計	318,812,809 円	77.86%
自主事業	新門司マリーナ施設運營業務	46,499,191 円	11.36%
	リサイクルポート施設運營業務	676,100 円	0.16%
	田野浦特定埠頭運營業務	22,660,458 円	5.53%
	船舶給水販売業務	5,895,869 円	1.44%
	若松月極駐車場業務	6,968,060 円	1.70%
	その他業務	6,622,010 円	1.62%
	経営委任施設管理運營業務	242,991 円	0.06%
	合 計	89,564,679 円	21.87%
営業収入合計		408,377,488 円	99.73%
営業外収益他		1,101,068 円	0.27%
総 合 計		409,478,556 円	100.00%

Ⅲ 平成 28 年度決算

1 貸借対照表（総括表）

平成 29 年 3 月 31 日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）		（負債の部）	
1 流動資産	364,331,677	1 流動負債	56,927,589
現金及び預金	312,492,494	未払金	16,677,590
未収金	40,135,993	前受金	20,112,573
貯蔵品	11,611,910	預り金	146,726
前払費用	91,280	賞与引当金	6,560,000
		未払消費税等	4,006,200
2 固定資産	100,906,904	未払法人税等	6,366,500
（有形固定資産）	98,877,600	一年以内返済	3,058,000
建物	115,188,321	長期借入金	
建物付属設備	28,181,289		
構築物	18,406,923	2 固定負債	72,783,746
車両運搬具	28,080,010	長期借入金	10,524,000
工具・器具・備品	24,596,642	退職給付引当金	62,259,746
リサイクルポート施設	47,600,000		
田野浦特定埠頭施設	51,300,952		
減価償却累計額	▲214,476,537	負債の部合計	129,711,335
		（純資産の部）	
（無形固定資産）	180,834	1 株主資本	335,527,246
電話加入権	62,000	（資本金）	10,000,000
ソフトウェア	118,834	（利益剰余金）	325,927,246
		利益準備金	2,500,000
（投資その他の資産）	1,848,470	繰越利益剰余金	323,427,246
敷金	1,717,600	（自己株式）	▲400,000
預託金	130,870		
		純資産の部合計	335,527,246
資産の部合計	465,238,581	負債及び純資産の部合計	465,238,581

2 損益計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 純売上高		
港湾施設性能維持外業務受託料	235,461,009	
港湾施設管理運營業務受託料	83,351,800	
燐鉱石業務収入	242,991	
船舶給水収入	5,895,869	
駐車場収入	6,968,060	
マリーナ保管料	30,832,342	
マリーナテナント料	12,231,488	
マリーナ施設利用料	3,435,361	
田野浦特定埠頭施設収入	22,660,458	
リサイクルポート施設料	676,100	
その他業務収入	6,622,010	408,377,488
2 売上原価	112,882,763	112,882,763
3 販売費及び一般管理費	276,702,809	276,702,809
営 業 利 益		18,791,916
(営業外損益の部)		
3 営業外収益		
受取利息	138,440	
雑収入	962,628	1,101,068
4 営業外費用		
支払利息	263,698	
雑 損	1	263,699
経 常 利 益		19,629,285
税 引 前 当 期 純 利 益		19,629,285
法人税・住民税及び事業税		8,668,300
当 期 純 利 益		10,960,985

IV 平成 29 年度事業計画

1 受託事業について

受託事業の遂行においては、北九州市から示されたミッションを確実に遂行することはもとより、長年の業務遂行実績により蓄積してきたノウハウと技術力を最大限活用し、港湾機能の強化に努めるとともに、港湾における諸手続きの改善等の提案を積極的に行なう等、港湾利用者の利便性の向上を図るための取り組みを推進する。

また、主要施設であるコンテナターミナルについては安全性と定時性の確保が命題であることから、老朽化する荷役機械の長寿命化と健全性の確保が必要不可欠となっている。

今後も施設を維持していくための取り組みとして、維持管理体制の強化と技術力の質の向上が必要であるため、人材育成の強化を図り、北九州港の安定運営に最大限寄与できるよう業務執行体制の強化を図る。

2 自主事業について

今後、北九州市の委託費の削減や収益構造等の変化に柔軟に対応し、安定した経営基盤を維持していくためには、時代によって変化するニーズや環境に適応し、効率的に収益の拡大を図れるよう組織体制の見直しを図り、業務執行体制の強化を図ることが必要不可欠となっている。

また、技術力の優位性を確保するためには、優秀な人材の育成と効率的な教育を行うための環境整備が必要不可欠であるため、主に以下の取組みを推進する。

- ・技術力を生かした効率的な収益の拡大を図るため、建設業許可の取得・維持に必要な組織体制の見直しを図る等、同許可の運用に必要な業務執行体制の整備に取り組む。
- ・優秀な人材の育成を行うために必要な、OJTによる教育プログラムの強化や、専門機関での知識習得に向けたOFF-JTの有効活用を更に強化し、もう一段高いレベルで業務を遂行できるよう、技術品質の更なる向上に取り組む。

3 主要な事業内容（平成 29 年 7 月 1 日現在）

事業別	部門別	業務内容
受託事業	港湾施設性能維持外業務	太刀浦クレーン等維持管理業務
		夜間入港準備作業及び立会業務
		新門司マリーナ施設維持管理業務
		太刀浦・白野江トンネル施設保守業務
		新門司・西海岸・浅野可動橋維持管理業務
	ソーラス条約による港湾保安対策用電気設備の保守点検業務	
	港湾施設管理運営業務	港湾施設の巡回・監視及び施設の使用許可、収入調定等に関する業務
自主事業	経営委任施設管理運営業務	田野浦埠頭における燐鉱石揚積に関する業務
	船舶給水販売業務	船舶で使用する水道水の販売 (北九州市上下水道局許可事業)
	若松月極駐車場業務	月極の賃貸駐車場
	新門司マリーナ施設運営業務	プレジャーボート、ヨットの艇置保管及び管理運営、クラブハウスのテナント賃貸
	リサイクルポート施設運営業務	循環資源取扱荷さばき地の管理運営
	田野浦特定埠頭運営業務	荷さばき地及び前面の岸壁を一体的に管理運営する特定埠頭事業
	その他業務	業者等の依頼による技術助勢及び運転助勢業務、トンネル設備点検・補修業務等

V 平成 29 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
港湾施設性能維持外業務受託料	246,810	
港湾施設管理運営業務受託料	84,190	
燐鉱石業務収入	220	
船舶給水収入	5,820	
駐車場収入	6,940	
マリーナ保管料	30,210	
マリーナテナント料	12,240	
マリーナ施設利用料	3,580	
リサイクルポート施設収入	470	
田野浦特定埠頭施設収入	22,660	
その他業務収入	7,260	420,400
2 売上原価	115,370	115,370
3 一般管理費	289,934	289,934
営 業 利 益		15,096
(営業外損益の部)		
1 営業外収益		
受取利息	10	
雑収入	540	550
2 営業外費用		
支払利息	200	200
経 常 利 益		15,446
3 特別損失		
固定資産除去損	490	490
税 引 前 当 期 純 利 益		14,956

役員名簿等

1 役員名簿

平成 29 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	橋本 哲治	北九州埠頭株式会社
取締役	権藤 宗高	北九州市港湾空港局長
〃	中野 幸正	太平洋セメント株式会社 九州支店長
〃	齋藤 哲郎	三菱マテリアル株式会社 九州工場 事務部長
監査役	鈴木 功	太平洋セメント株式会社 九州支店 業務部長
〃	兵働 禎三	小野田化学工業株式会社 門司工場長

2 市との特命随意契約の状況（平成 28 年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州市港湾施設性能維持外業務委託	254,298	24 時間対応が求められるガントリークレーン等の港湾施設の突発的故障・事故に対応できる業者は 1 社しかないため。	ガントリークレーン年次・性能点検技術助勢業務委託	2,981	JFE プラントエンジニア(株)	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			ガントリークレーン年次・性能点検技術助勢業務委託	432	IHI 運搬機械(株)	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			ガントリークレーン等の電気品点検業務委託	1,296	安川シーメンスオートメーション・ドライブ(株)	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦第 1 受電所保護継電器試験外業務委託	270	満井電気計測(株)	指名競争入札	
			ガントリークレーン年次・性能点検助勢業務委託	915	(株)仙容	指名競争入札	
			ガントリークレーン等の補修塗装業務委託	2,229	興栄産業(株)	指名競争入札	
			ガントリークレーン等機械修繕補助業務委託	2,268	大伸工業(株)	指名競争入札	
			ガントリークレーン等電気修繕補助業務委託	1,555	(株)野村	指名競争入札	
			太刀浦 7 号ガントリークレーン用エレベータ外点検業務委託	261	サノヤス建機(株)	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦 9 号ガントリークレーン用エレベータ点検業務委託	238	(株)カイナン	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦 6 号上屋垂直搬送機の一部点検業務委託	124	ファインテック(株)	随意契約（特命）	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			太刀浦 6 号上屋 垂直搬送機の一部 点検業務委託	216	オムニテ クノ(株)	随意契約 (特命)	メーカーであり、同 機器に関する専門的知 識や品質保証が求めら れることから、他への 委託が不可能であるた め。
			太刀浦 6 号上屋 ドックレベラー 外一部点検助勢 業務	907	(株)西村鉄 工所	指名競争 入札	
			太刀浦 6 号上屋 エレベータ遠隔 監視付保守点検 業務委託	2,022	東芝エレ ベータ(株)	随意契約 (特命)	メーカーであり、同 機器に関する専門的知 識や品質保証が求めら れることから、他への 委託が不可能であるた め。
			太刀浦トンネル 環境測定装置保 守点検業務委託	1,372	福岡酸素 (株)	指名競争 入札	
			新門司(4号)可 動橋ディーゼル エンジン発電機 点検業務委託	50	機電サー ビス	指名競争 入札	
			太刀浦 10 号ガン トリークレーン 用エレベータ点 検業務委託	558	米山工業 (株)	随意契約 (特命)	メーカーであり、同 機器に関する専門的知 識や品質保証が求めら れることから、他への 委託が不可能であるた め。
			ガントリークレー ンワイヤーロー プ取替助勢外 業務委託	2,270	(株)K I M	指名競争 入札	
			新門司マリーナ 2 号浮棧橋補修 業務	1,598	(株)ヤマダ	指名競争 入札	
			太刀浦 4 号クレー ン起伏振れ止 め装置補修業務	997	(有)幸谷工 業	指名競争 入札	
			新門司第 3 可動 橋油圧配管補修 業務(緊急)	157	成和工業 (有)	随意契約 (特命)	緊急補修が必要にな り、即応可能な業者で あったため。
			新門司マリーナ 屋外照明灯補修 業務	184	(有)日野電 気	指名競争 入札	
			太刀浦 4 号クレー ン巻上シーブ 外取替業務	1,944	白石鉄工 (株)	指名競争 入札	
			太刀浦 9 号クレー ン横行オイル パッファ取替業 務	1,566	(株)上組八 幡支店	指名競争 入札	
			新門司第1可動橋 外床板補修業務	1,477	(株)西村鉄 工所	指名競争 入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			太刀浦第 1CT 冷凍コンセント盤補修業務	1,669	森岡電気(株)	指名競争入札	
			太刀浦 7 号クレーン横行シーブ取替業務	1,713	(株)仙容	指名競争入札	
			太刀浦 5 号クレーン機械室空調機修繕業務	212	(有)菅沼空調サービス	指名競争入札	
			太刀浦第 2CT 冷凍コンセント盤ソケット補修業務	1,944	永見電気商会	指名競争入札	
			太刀浦 4 号クレーン点検歩廊他補修業務	1,976	(有)帆足鉄工所	指名競争入札	
			太刀浦 7 号クレーンエレベーターケーブルリール取替業務	1,324	サノヤス建機(株)	随意契約(特命)	メーカーであり、同機器に関する専門的知識や品質保証が求められることから、他への委託が不可能であるため。
			太刀浦 5 号クレーン変圧器絶縁油取替業務	356	満井電気計測(株)	指名競争入札	
			太刀浦 5 号クレーントロリ・運転室取付台他補修業務	1,812	興栄産業(株)	指名競争入札	
			太刀浦第一、第二CYウエイトタンク移動業務	8	九州産業運輸(株)	随意契約(特命)	北九州市港湾空港局の依頼で緊急対応が必要となり、即応可能な業者であったため。
			太刀浦 5 号クレーン横行ギヤカップリング取替業務	362	(株)上組八幡支店	指名競争入札	
			新門司マリーナ 1 号浮棧橋補修業務	1,879	大伸工業(株)	指名競争入札	
			太刀浦 8 号クレーン走行ブレーキカバー取替業務	532	濱田重工(株)八幡支店	指名競争入札	
			太刀浦 7 号クレーン巻上シーブ取替業務	835	(有)幸谷工業	指名競争入札	
北九州市港湾施設管理運営業務	90,020	公募を実施したものの、応募者が無く他に業務を履行できる業者がいなかったため。	再委託なし				
合計	344,318		合計	42,509			